

Progress Report

平成 28 年 11 月 30 日
株式会社 長 大 (文責)

環 境 教 育 活 動 ス タ ー ト ! !

個人や集団のエンパワーメントと社会変革を意識した実践的教育活動の実施

正和電工株式会社（以下「正和電工」）は、事業対象地域であるクアンニン省のハロン市又ヴァンドン島で 2014 年度補正予算中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～の一環として環境教育活動を実施しました。本活動は、クアンニン省においてバイオトイレと新浄化装置を用いた分散型排水処理システムを持続的に活用できるよう、①子供達が自分たちの生活と地域の自然のつながりを理解すること、②子供達がハロン湾の環境保護のために自らできる事を考え行動すること、③バイオトイレが環境を改善することを理解すること、④学んだことを学校全体に広げる意味を理解すること、の大きく 4 つの目的を実施しました。

特定非営利活動法人ネイチャーセンターリセン（東京都）の支援を受けつつ、対象小学校（Tran Hung Dao 小学校）の 3 年生（約 70 名）及び教員向け環境教育教材を 2016 年 7 月に完成し、クアンニン省教育局の検査を受けた後、同年 9 月から 12 月までの間に授業を 9 回実施しました。2016 年度は「私たちのハロン湾の自然を守ろう」をテーマに、授業を通じて、“自分たちが暮らす地域の自然に誇りと自信を持ち、その自然環境を守るために、自分たちが出来ることを考え、行動に移すこと”に取り組みました。

授業終了後のヒヤリング調査の結果から、本授業を受けた子供たちが、バイオトイレを導入することによって環境にどういった良い影響をもたらすかを理解することができたと共に、ハロン湾の環境を守るために自分たちの生活を見つめなおす取り組みにもつながったなどの効果を確認すること等の確認ができました。引き続き 2017 年度は「私たちのハロン湾の自然を守ろう」をテーマに、4 年生及び教師向け環境教育教材の作成と環境授業の実施する予定です。クアンニン省においてバイオトイレ及び分散型排水処理システムの持続的な利活用できるように、実践的な教育活動を通じて、子供たちの水環境保全や公衆衛生意識の向上を図ります。



写真：授業の様子